

もとゆきかわら版

2017年(平成29年) 4月 第32号 発行:年3回

発行所 もとゆき会

〒103-0007

東京都中央区日本橋浜町

2-35-7 島鶴ビル601号

電話 03-3660-4302

ご挨拶

二月中旬に日本列島を襲った厳しい寒波は、日本海側の各地に大雪をもたらし、鳥取市では昭和五十九年以来となる90cmを越す積雪となるなど、西日本を中心に記録的な降雪となり、道路や鉄道など交通網に大きな混乱をもたらしましたが、三月に入り寒さの峠を越え、雪の便りから、桜の便りに代わり、春の訪れを感じております。

さて、国会は衆議院予算委員会での平成二十九年予算案の審議を経て参議院に移り、文部科学省の天下り幹旋問題や森友学園の問題、組織犯罪処罰法改正案などを巡り、政府との激しい質疑応答が続いています。自民党内においては、今国会に提出予定の法案についての与党内手続きが順次進められています。

厚生労働部会関係では、医療と介護を一体的に提供する介護医療院の創設や被用者保険の介護納付金に対する総報酬割の導入等を盛り込んだ「地域包括ケアシステム」の強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案が国会に提案され、続いて「医療法等の一部を改正する法律案」や「健康増進法の一部改正法案」の検討が行われています。

健康増進法の改正においては、2019年のラグビーワールドカップ及び2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催控え、医療機関や飲食店等多くの人々が利用する施設について、敷地内若しくは建物内を禁煙とすることにより、受動喫煙の防止を図るものとなっています。自民党内には小規模飲食店事業者等への影響を考慮し、慎重な検討を求める声もありますが、北京以降ロンドン、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおいては、罰則を伴う法規制による禁煙措置が講じられていることや、受動喫煙による肺がん等の疾患リスクが学問的にも明らかとなっている状況において、日本の禁煙対策が諸外国に比べて見劣りするものであってはならないと考えます。

参議院議員

藤井基之

アナログからデジタルへ

一 団塊の世代・1948年生まれが華麗なる変身を目指して一

もとゆき会幹事 長野 明

昨年六月、四十五年に亘る会社人生卒業を機に一念発起し、残る人生、より積極的に社会との幅広い関わり合いを持ち、楽しく活動的な日々を過ごすことの思いから、まずは「パソコン教室受講」をスタートさせた。

これまでパソコンとは、主に社内資料やメールの送受信、或いは挨拶原稿等の極めて単純な向き合い方しかしてこなかった。個人では二年ほど前、家内とともに「スマホ」に変更して、様々な「アプリ」は適度に活用していたが、「Word」「Excel」の様々な応用技術は若手の皆さんにお任せし、自身では全く無縁であり、「まさにアナログ爺」そのものであった。

五月下旬の週末、自宅に比較的近い新宿駅近辺に散歩がてら出向いたとき、偶々視界に入ってきた、駅近くのビルにあるパソコン教室を家内とともに冷やかに半分のもりで訪ねてみた。

その教室は、立地条件からか、主にCG技術の専門性向上目的や個別企業のスキルアップ研修クラスが、主な受講生のような教室であった。

「これはかなり鍛えられそだなあ」といったところが最初の雰囲気であった。講義は150分/1単位で運営され、22単位3,300分(55時間)を約3ヶ月で終了した。

3ヶ月に及びパソコン教室受講が、こんなにも楽しいものになるとは想像していなかったが、受講の度に少しずつでも進歩している我が身を感じられることが、「小さな喜び」にもなった。教室の方に「Word」「Excel」が自在に扱えるようになりたい旨お伝えしていたので、それに即した講義内容で進んだが、同時間帯で別のパソコン画面で受講している周囲の若い受講生はとも高々等な受講内容で、時々自らの質問が初歩的すぎることに気づき、質問の声をトーンダウンさせたこともしばしばあったが、でも楽しさ一入であった。

さて、パソコンは様々な情報を瞬時に入手可能だが、私は今、昨年秋季より日経新聞がスタートさせた電子版に、様々なオプショナルサービスが付いたものを活用している。朝夕刊の配達もセットになっているが、早期パソコンを立ち上げてからやおら、広範囲にキーワード登録してある「ニュース」を確認したり、時にデータベース検索をしたり、結構時間がかかっているが、これも年寄りに必要な社会との繋がりの一つと思ひ、大事にしている。

アナログからデジタルへの華麗なる変身は、未だ途上だが健康管理と共に続けていきたい。

昨年十一月十七日に開催された「もとゆき会役員会」で幹事のお仲間に入れて頂きました。何卒宜しくお願い申し上げます。

結びとなりますが、藤井基之議員そして事務所関係者の皆様、もとゆき会役員各位の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



藤井もとゆき国会日記 その1

/° - ² O 12 %o - ç ý £
«^a: Ñ Ó œ ß - u



À Ž O ý ! G · \$ Ó ç á ñ · ü e Û È Ò " È · Í
_ O ý ¥ · _ ç È & ¥ ' - · - · - B " ·
7 Ā ½ V { + Ñ Ó < Ó t | · · < = · Ø Ò Ç
" u
Ç " ; Š d e ¥ · _ ç È & ¥ ³ ² - ¥ · T ø
· < Ó · È Ò È ç · ž Ò Ç " u

/° - ² O 12 %o ± ç f £
«^a: «^a Ñ Ó œ ß - t
«⁻: -^a Ñ Ó Æ 7 ... p b Æ N
À C B Û Ī u u



œ ß - ' " · - t N - P ó † ® " ç Ī R £ · â
s · Y v ' Û ç Ò ¥ · ' - · - · - B " · Ø Ò | ·
· t < = · Ø Ò Ç " u
Ç " k " ù ™ ¼ ™ · · \$ ¼ Ī ¼ d M ·) , · Y v
' Û ç Ò ¥ · ® ¥ ' - · - · T ø · Ø Ò ç
· ž Ò Ç " u



/° - ² O 12 %o ² ç ™ £
«^a: Ñ Ó · ½ V · À C B ' " · - < b
' Ī^a Ç " u



» Ī B · < b ' Ī^a Ç " u Y - ¥ · O ý ¥ È
& u † ' t 12 %o 7 ' Ī u ž Ò " ° · Ī ý
b B - ' " š Ò ½ V · { + · t · ' - · - · - · Ī
ž ¨ - - - Ç " u d · Q O È - ' Û ç Ò t · t
d } - f > ' Û ç Ò t · ³ ² ' Û t { + ' ° W
» Ò Û ± Ī · Ç " · t { + , À C B ' ·
ž Ò t ½ V · À C B , u c · < = , " ³ · Ç
¸ Û ° " u
Ā) ä ç Ò œ ± ' Ç Ð · u



/° - ² O 12 %o ³ ç ý £
«^a: Ñ Ó ½ V · À C B t
«⁻: Ñ Ó œ ß - u



«⁻: Ñ Ó · œ ß - ' " · - t Ī S ò , · Y v ' Û
ç Ò ¥ · ® ¥ Ī ¼ Ī Ī e %o ž Ò " a } / ¶
8 8 ÷ £ - · - · ø ½ ç Ð Ī ¼ Û ¥ · ·
â s ' Û ç Ò ¥ · ' - · - · T · · Ø Ò t · È Ò
È f ° v à ° ç · ž Ò Ç " u

/° - ² O 12 %o 1 - ç É £
«^a: Ñ Ó «[±]: -^a Ç °
½ V · À C B u



À Ž O ý ! G · \$ Ó ç á ñ · ü e Û È Ò " È · Í
_ O ý ¥ · _ ç È & ¥ ' - · - · - œ - v , t \$?
Ī , { + · È ± Y - · Ø Ò t | · · È Y - ·
Ò Ò ž Ò «[±]: ... - Ñ Ó T · · Ø Ò ç · ž Ò Ç
" u

/° - ² O 12 %o 1 ® ç f £
«^a: Ñ Ó ½ V · À C B t
«^a: «^a Ñ Ó Æ 7 ... p b Æ ' Û ç Ò
N À C B t
«[«]: Ñ Ó · À C B · Ī " Ò t B - > ü
, · Ø Ò Ç " u
«³: 1^a Ñ Ó œ ß - u



«³: 1^a Ñ Ó · œ ß - ' " · - t Ī c - ±
' Û < Û _ È - - È g · Ó · - · e %o ž Ò Ò
c v à ° · ž Ò Ç " u Ó · - À Ž O ý ! G · \$
Ó ç á ñ · ü e Û È Ò " È · Í _ O ý ¥ · _ ç È
& ¥ ' - · - · T · · Ø Ò ç · ž Ò t | · · p ·
± ³ Ó Ç " u p · · «²: Ñ Ó Ð Ī ž Ò t N -
P ó † ® " · â s · Y v ' Û ç Ò ¥ · ç ·
Ø Ī Ò Ī R è ø · ` Y v ¥ £ ' - · - · T · ·
Ø Ò ç · ž Ò Ç " u



藤井もとゆき国会日記 その2

平成29年1月12日(木)～13日(金)
北方領土及び隣接地域の諸問題等に関する
実情調査のため道東を訪問。



平成29年1月20日(金)
第193回通常国会が召集されました。
(6月18日までの150日間)

平成29年1月27日(金)
13時30分より開催された「女性医療職
エンパワメント推進議員連盟」の設立総会
に出席しました。



平成29年1月31日(火)
17時40分より本会議。

平成29年2月7日(火)
平成29年度度北方領土返還要求全国大会
に出席。

平成29年3月8日(水)
宏池会60周年記念撮影会。



平成29年3月27日(月)
17時40分より本会議。

12、13日の2日間、沖縄・北方問題に関する特別委員会の委員と共に道東視察を行い、17時前頃羽田に帰ってきました。
中標津でマイナス26度を記録するなど、寒さは半端ではありませんでしたが、心配していた気象状態も日頃の行いの成果か好天候でした。
国後島などが眼前に広がり、「4島は日本の固有の領土」の感を強くしました。関係者の方々のお力添えに感謝申し上げます。ありがとうございました。

10時より本会議、6つの特別委員会の設置が承認されました。
10時15分より沖縄・北方領土問題に関する特別委員会が開催され委員長に指名されました。
13時より天皇陛下をお迎えし開会式が行われました。
15時35分より休憩に引き続き安倍総理大臣による施政方針演説、岸田外務大臣による外交演説、麻生財務大臣による財政演説および石原国務大臣による経済演説が行われました。

緊急上程された平成28年度一般会計補正予算案及び平成28年度特別会計補正予算案について採決が行われ可決されました。

国立劇場大劇場において開催されました平成29年度度北方領土返還要求全国大会に参議院沖縄・北方問題に関する特別委員会委員長として出席いたしました。

緊急上程された平成29年度一般会計予算、特別会計予算、および政府関係機関予算について、記名投票による採決が行われ、賛成多数により可決されました。このほか、地方交付税法の一部改正法案、所得税法等の一部改正法案など5法案について採決が行われ、いずれも可決されました。



ゆとり教育賛成派

もとゆき会幹事 北山 信

「誰もが大学で学べる社会にして」との投稿が最近の朝日新聞に掲載された。投稿氏の論旨は、「大学を卒業すれば、ホワイトカラーとして就職でき、年功序列と終身雇用に守られて、安定した生活が営める。本人が望めば、誰でも大学に入り学べる社会にすべきだ」と言うものだ。こういう論調を最近多く聞く。ゆとり教育的視点から、この問題にアプローチしてみたい。

2000年頃、「数学のできない経済学部の学生がいる。これはゆとり教育の結果だ」等の主張が幅をきかせ、2010年代、ゆとり教育はつぶされた。「学力低下」と言われているが、5年に一度、世界的に展開される数学コンテストでの日本の成績は、年度のばらつきは有るものの、下がっているとは言えない。むしろ先進国グループ内では、毎回トップと言ってよい。しかるに「経済学部・・・」の言も又、真実である。

失敗学で著名な工学院大学の畑村教授は、学力低下に関して二点指摘されている。一つは、大学入試科目数の減少、二つは大学進学率の上昇、である。

歴史を学んでいない理科系の人、世界へ行っても議論はできない。昼間はともかく、夜、酒を飲みながら腹を割って話すとき、歴史を語れぬ技術馬鹿は、相手にしてもらえない。受験科目数は多数であるだけ、国際的に通用する人が育つ。大事なことは、学生が本当にやりたいことをきちんと見つけられるようにすべきである。大学への進学率は2010年頃で約60%であり、1960年台の約3倍になっている。しかもこの間一貫して、少子化の傾向を深めてきており、各世代の学力水準が同じとしても、大学生全体の平均値が下がるのは当然である。

長島茂雄氏は、ゆとり時間を野球にかけた。20才の若者教育の多様化について論議を深めるべきである。メーカーでエンジニアとして働き、社会に貢献したいと考える人は、高校で、liberal arts（世界史等）をしっかり学び、工学校（大学と言うよりも・・・絵画の道へ進むなら美術学校）にて専門領域を深めることが、中・高等教育の理念であるべきであろう。大学全入の結果の一つとして、現在高卒生が従事しているブルーカラー層も大卒生が担わなくてはならなくなることを投稿氏は許容するのだろうか。

「近しく・親しく 藤井基之先生と懇談 する会」開催！！

日時：平成29年2月21日（火）
午後6時30分～8時40分
場所：KKRホテル東京
孔雀の間

平成29年2月21日「近しく・親しく藤井基之先生と懇談する会」が、大勢の方々にお集まりいただき、KKRホテル東京「孔雀の間」にて開催されました。

第1部では、もとゆき会からの報告、新会長にご就任された中通会長よりのご挨拶および新役員のご紹介を戴き、さらに顧問の先生よりのご挨拶に続き、藤井先生より国会活動報告を行って戴きました。

引き続き第2部では、美しい夜景を見ながら、近しく・親しく藤井基之先生と懇談する楽しく盛り上がる会となりました。



もとゆき会入会の案内

もとゆき会とは、藤井基之先生の政治家としての大成を期するため活動している政治資金規正法に基づく政治団体です。藤井基之先生の政治理念や人柄などに共鳴した人々の「藤井もとゆきファンクラブ」のようなものです。「藤井もとゆき勝手連」とも通称しています。会員になりたい方、関心のある方は、下記の藤井基之事務所にお問い合わせください。

入会金や会費はありませんが、個々の事業や活動の実施に必要な場合は、その都度、費用を会員や参加者から徴収させていただきます。

もとゆき会の活動をご理解いただくために、ホームページを開設いたしておりますので、右記アドレスにアクセスしてみてください。

藤井基之国会事務所

〒100-8962
東京都千代田区永田町 2-1-1
参議院議員会館 1218 号室
☎ 03-6550-1218
Fax 03-3597-9393

藤井基之浜町事務所

〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町 2-35-7
島鶴ビル 601号
☎ 03-3660-4302
Fax 03-3660-4328



もとゆき会 HP:
<http://www.fujii.tv/>

